

沖縄県教育庁 日田市体育専科教員配置校視察

平成30年3月7日(水) 8:30~14:00
8:30~10:00 日田市立日隈小学校訪問
10:20~14:00 日田市立有田小学校訪問



日隈小2年生「サークルシュート」の様子

沖縄県 : 沖縄県教育庁保健体育課指導主事 古賀 義之
 ^{あけぼの}
 沖縄県那覇市立曙小学校体育専科 古堅 洋平
 ^{あがりえ}
 沖縄県名護市立東江小学校体育専科 比嘉 俊輔
大分県 : 大分県教育庁日田教育事務所指導主事 長谷部 洋一
 大分県教育庁日田教育事務所指導主事 財津 辰也

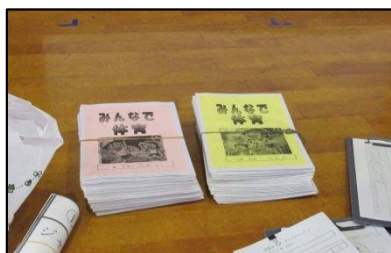
日隈小学校(体育専科矢野治郎先生)では、2年生「サークルシュート」、有田小学校(体育専科岩崎敬先生)では1年生の「宝とりおに」と3年生の「すすみっこベース」の見学をしました。



日隈小・振り返りをカードに記入する2年生

沖縄からの視察の先生方は、低学年でありながら授業規律が確立していることや、グループ活動で話し合いが活発にできていることを感心していました。特に、体育(運動)に苦手意識を感じている児童を中心に据えて授業を実践していることに共感していました。

また、教具の工夫や活用方法について説明を受け、熱心に質問していました。



日隈小・体育記録カード「みんなで体育」



日隈小・ゲームの新しいルール説明を聞く2年生

【沖縄の先生方の所感】

沖縄県教育庁主任指導主事 古賀義之

体育専科配置校2校の授業を見て、大分県の体育専科教員の質の高さを感じるとともに、配置校児童の授業で話し合う姿などから、体育の授業を通して多くのことを学んでいることがわかった。児童に学び方を学ばせることの重要性を感じた。

大分県の体育専科は現在24名おり、大分県下を網羅できる数があることを聞いてとてもうれやましく思った。今回の訪問で得たことを参考に、本県もさらなる増員に向けて取組の充実を図っていかねばならないと感じた。



有田小・「宝とりおに」で作戦会議をする1年生



有田小・記録カード「たいいくカード」

沖縄県那覇市立曙小学校体育専科 古堅洋平

日隈小学校での授業では、2年生のシュートゲームという授業を参観させて頂いた。児童の運動量が十分に確保されていて、なおかつ児童が作戦を工夫しながらゲームに取り組む姿に感心した。体育専科と担任のTT授業による指導の効果が明確だった。低学年でも学習規律がしっかりしているので、共通実践事項が学校全体で取り組まれているのであろう。

有田小学校では、1年生と3年生の授業を参観させて頂いたが、児童が主体的に楽しく活動する姿に感動した。そしてなにより体育専科の先生の豊富な指導資料や自主制作教材に驚嘆した。どれも、種目の特性を考慮して、児童の活動をより活発にするための工夫がなされていて、とても参考になった。私が一番共感したのが、C評価の児童への手立てに重点をおいていることである。児童全員が楽しい授業にするための視点で、重なる部分が多々あり、今後の教材研究に大いに役に立つと感じた。

今回の大分視察で体育専科の先生方からたくさんのやる気と情熱を頂いたので、私自身今後の沖縄での体育専科としての活動をさらに活発化させていきたい。



有田小・授業の振り返りを記録カードに記入する1年生

小学校体育専科教員配置にかかる先進地（大分県）訪問報告書

名護市立東江小学校 体育専科教員：比嘉 俊輔

1 目的

本県において平成28年度から配置している小学校体育専科について先進地訪問を通し、同事業のさらなる拡充に向けた施策に生かすとともに、今後の円滑な実施に資する。

2 日程

平成30年3月7日（水）8:40～14:00

3 訪問地

日田市立有田小学校・日隈小学校

4 訪問者

健康体育班主任指導主事	古賀 義之
那覇市立曙小学校	古堅 洋平
名護市立東江小学校	比嘉 俊輔

5 訪問地選定理由

大分県教育委員会は、平成25年度より小学校に体育専科を配置し、体育学習の充実と児童の体力向上に取り組んでいる。その取組を通して、望ましい運動習慣の確立や児童の体力向上など大きな成果が現れてきている。特に、全力体力テストでは、九州トップの体力値を示した他学習面での好影響があるなど、その取組が大きく評価されている。

6 訪問内容

- ① 体育専科教員配置校の取組状況
- ② 体育専科配置校における成果と課題
- ③ 体育専科教員配置の為の予算措置状況

7 訪問後の還元方策

- ① 先進県の体育専科配置校を訪問することにより、本県体育専科配置校における取組の参考とし、各配置校において、より一層充実した取組ができるようにする。
- ② 先進県訪問を通して、本件体育専科配置校における課題解決の参考とするなど、次年度以降の取組の充実を図る。
- ③ 先進地の現状、成果と課題を伺うことにより、本県における今後の体育専科配置事業の展開の参考とする。

8 具体的な訪問内容

- 配置校における勤務形態について
大分県内に24名の体育専科を配置し、拠点を置き1人2校～4校の体育学習をコーディネートしている。
- 校内運動環境の整備について
屋内外運動場は整然とし、教材も豊富で充実している。中でも近隣校で教材を共有して使用していることから、その地区体育授業の充実度が伺えた。



← 「体育教育だけじゃだめよ」と指導を受け、健康教育・保健学習も頑張っているとのことでした。

- 体育専科教員が活動を進めるにあたって心がけていること
有田小学校：岩崎 敬教諭より
自分自身の授業力向上が子ども達の体育的学力の向上に繋がると思っている。日々教材・教具の開発、学習環境の整備に努め、子どもの実態に応じた授業づくりを心がけている。
体育の授業がうまくいけば、思いやりの心を育み、助け合う力を伸ばし、ルールを守り、フェアな行動を求め素直に賞賛する態度と順序立てて考える力を伸ばし学級、学校に笑顔と活力を生み出す。

9 今後の取り組み

- ① 学級担任の指導力の更なる向上を目指した支援体制の充実。
- ② 近隣校における体育学習の充実

今回の視察は、次年度取り組むことの方向性やモチベーション・職責の向上に繋がり、貴重な経験となりました。ありがとうございました。